

はらっぱ

令和5年7月24日
山形市立南沼原小学校
学校だより 第4号
文責 校長：石澤 友章



ふるさと“はらっぱ”から未来へ

～感謝と決意・新校舎落成記念式～

7月3日（月） 50名を超えるご来賓等に見守っていただきながら、新校舎落成記念式を挙行いたしました。この記念式は、新校舎をつくってくださった皆さまに感謝の気持ちを伝えると共に、子どもたち自身が、新しい学び舎で将来の地域や県の発展のために夢と希望をもって学んでいく決意を表すものです。

ブラスバンド部の伸びやかな演奏によるオープニングのあと、主催者である佐藤孝弘 山形市長より「温かく安全・安心に見守る新しい校舎のもと、広い心・丈夫な体・進んで学習を目標に、将来の山形市を担う人材として成長してほしい」と激励の言葉をいただきました。

しめくくりは5・6年生によるお祝いメッセージのよびかけ。「この校舎をいつまでもきれいに、これから入学してくる後輩たちに美しいままつないでいきたい。今のこの幸せな気持ちを未来につなげていきたい」という感謝と決意の言葉の数々が、体育館に響き渡りました。その張りのある声と堂々とした態度はご来賓の方々の心に届き、たくさんの方から「子どもたちの姿に感動した」とお褒めの言葉をいただきました。この式典の実施に至る過程で、改めてどれだけたくさんの方々の努力があっ

たかを実感し、実り豊かな教育活動に、より一層力を尽くしていかなければならないと、教職員一同決意を新たにしました。保護者の皆様はもとより、山形市当局をはじめとした工事関係者の皆様、そして長きにわたり校舎改築に関わってくださった地域の皆様に重ねて感謝申し上げます。



地域とともにある学校づくり ～第1回学校運営協議会～

7月11日（火）に第1回目の「学校運営協議会」を開催し、新しい委員の方々と今年度の学校経営方針をもとにした意見交換を行いました。授業通覧も行い、主体的に学ぶ子どもたちの様子を見ていただきました。いじめ防止の取り組みや新しい校舎を有効に活用した学習の在り方などについて、意見を交わしました。11月と3月にも会議を開き、熟議などを通して「社会に開かれた教育課程」の実現に努めていくことが確認されました。

学校運営協議会委員の皆様をご紹介します（敬称略）

会長 齋藤 博行（南沼原地区町内会連合会長）	副会長 小関 利明（同窓会・教育後援会会長）
委員 金澤 孝治（南沼原コミュニティセンター所長）	委員 神尾 基（PTA会長）
委員 岩瀬 達哉（PTA副会長）	委員 東海林 仁（PTA副会長）
委員 渡邊 和浩（学識経験者・元校長）	委員 石澤 友章（校長）
事務局 東海林一善（教頭）	事務局 田苗 朋子（事務総括）
事務局 軽部 秀明（主幹教諭）	事務局 小熊 陽一（教務主任）

いね！ひさしぶいのなかよしロング ～異学年交流～

ここ数年実施を見合わせてきた活動はたくさんありますが、たてわり班での異学年交流もその一つです。これは、今年度の学校運営方針その5 **多様な交流活動を通して、人との「よいよいかかわり方」を学ぶ場を提供していく** を具現化するための方策の1つです。今年度は、年間3回ではありますが活動を再開することにし、先日その第1回目を行いました。

5・6年生の班長が、自己紹介のビンゴゲームを中心に遊びをリードしてくれました。終わった後に、「1年生を教室まで送りながら「どうだった？楽しかった？」「みんなの名前覚えて？」などと優しく話しかけている班長の姿がとても頼もしく、ほほえましく感じました。自然に笑顔になるかかわりの中で、子どもたちは確実に何かを獲得しています。



かかわる力を高めるために

ある研究者が、「困っている人を助ける」「感謝する」「謝る」「失敗した友だちを励ます」「相手の気持ちを考えて話す」「我慢すべきときに我慢できる」などの他者とかわるスキルを備えている子どもについて調べたそうです。その結果、それらの子どもたちは家庭で「真剣に話を聞いてもらう」「気持ちを分かってもらう」「励まされる」「一緒に喜んでもらう」などの情緒的サポートや「発達に合わせてわかるように説明してもらう」「一人ではできないときに手伝ってもらう」「勉強のわからないことを教えてもらう」などの具体的援助を受けていることが分かったそうです。ただしそれは、決して過保護のような状態ではなく、うまくいかないときのほどよい適切な支援なのだそうです。このような子どもたちは、対人関係において他者の立場を推測し気持ちに寄り添う行動をしたり、自分を表現したり、他者との葛藤を解決したりできることが多いそうです。南沼原小学校の中にもそうした子どもがたくさんいます。各ご家庭での適切なかかわりがあるからこそ感じています。

夏休みは子どもの自律をうながすチャンス

夏休みが始まります。なによりも事故や怪我等がなく、命を大切に安全・安心に過ごしてほしいことは言うまでもありませんが、「言われてやる」から「自分で決めて、実行する」に転換し、自律した生活習慣を身につけるチャンスと考えることができます。

お子さんの成長のために、おうちの皆様と考えていただきたいこと

◇時間や行動を自分でコントロールする力を高める

- ・就寝、起床時刻を安定させる
 - ・メディアに触れる時間の約束をおうちの人と一緒に決める
- ⇒ 今月、全学級で行った情報モラル学習の内容については、本日発行のほけん日より「すこやか」をご覧ください

- ・計画する→実行する→振り返る のサイクルを大切にする
- 学年が上がるにつれて「口や手を出す」から「本人に考えさせる」かかわり方を

◇健康な心身を整える自己調整力を高める

- ・バランスのとれた食事、間食のしすぎに気をつける
- ・適度な運動やお手伝いなどで体を動かす